

小水力発電 政策シンポジウムのご案内

「小水力発電開発，現在の課題と中長期戦略を考える」

全国小水力利用推進協議会では 2017 年度総会イベントとしまして「政策シンポジウム」を開催いたします。再エネ発電所の開発にとって大きな課題である電力系統への接続問題と地域における小水力発電の開発の在り方を視野に、長期的に自立性のある小水力発電の開発に向けての方向性の報告と討議を行います。ご関心のある関係者各位の積極的なご参加をお待ちしています。

- 日時：7月21日（土）午後1時30分～5時
- 場所：日比谷図書文化館 コンベンションホール
（東京都千代田区日比谷公園1-4 B1；裏面地図を参照ください）

- プログラム（氏名敬称略）
 1. 13:30 - 13:35（5分）開会挨拶：愛知 和男 全国小水力利用推進協議会会長

 2. 13:35 - 13:50（15分）提言発表「2030まで／以降の小水力の課題と求められるシナリオ作成」 中島 大（全国小水力利用推進協議会 理事・事務局長）

 3. 13:50 - 14:30（40分）基調講演『再エネ大量導入の課題と Beyond2030 の電力NWに向けて』 曳野 潔（資源エネルギー庁 電力基盤整備課長）

 4. 14:30 - 14:50（20分）講演・テーマ1 『小水力と消費者の観点からみた、電力システム・システムの在り方』 船津 寛和（株式会社パルシステム電力）

 5. 14:50 - 15:10（20分）講演・テーマ2 『シュタットベルケの可能性』 青山 英明（一般社団法人 ローカルグッド創成支援機構 事務局長）

 - 15:10 - 15:25（15分）休憩

 6. 15:25 - 15:55（30分）報告『2030に向けた取り組みと課題（各10分）』
（中小水力4団体のうち公営電，水懇，自家懇、から報告）

 7. 15:55 - 16:55（60分）パネルディスカッション
『小水力発電開発，現在の課題と中長期戦略について』
モデレーター：小林 久（茨城大学教授、全国小水力利用推進協議会・理事）
（登壇者、来賓、関係者からの意見表明・問題提起、所管官庁・関係者からのコメント
会場を交えての討論）

 8. 16:55 - 17:00（5分）閉会挨拶：全国小水力利用推進協議会 代表理事

- 入場無料・先着順・事前申込不要（定員 200 名を超えた場合はお断りすることがあります。予めご了承ください。）

お問合せは 全国小水力利用推進協議会 事務局まで [TEL:03-5980-7880](tel:03-5980-7880) Email:info@j-water.org

■ 会場地図



- ・東京メトロ 丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」B2 出口より徒歩約 3 分
- ・都営地下鉄 三田線「内幸町駅」A7 出口より徒歩約 3 分
- ・東京メトロ 千代田線「霞ヶ関駅」C4 出口より徒歩約 3 分
- ・JR 新橋駅 日比谷口より 徒歩約 10 分

当政策シンポジウムの趣旨

再エネ発電の普及に対して、系統制約が大きな課題となっています。これは部分的な技術解で対応する課題ではなく、電力システムのあり方自体が問われていると私たちは認識しており、世間的にもそのような認識が少しずつ広がっています。とくに小水力発電に関しては、水資源が地域社会と強く結びついていること、比較的人口の希薄な山間地に資源が多いこと、自然変動が比較的小さいことなどから、自立性を持ったローカルシステムの基幹的な電源と位置づけることが可能と考えます。

本シンポジウムでは、日本の電力システム全体のあり方を意識しつつ、自立性を持った小水力発電の開発とローカルシステムのあり方について考え、今後の議論に向けた問題提起を行いたいと思います。